

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (アレルギー膠原病ユニット)	
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
1	<p>人体の構造と機能 以下について説明できる。</p> <p>①免疫系の構成と免疫担当細胞（リンパ球と抗原提示細胞）の役割</p> <p>②肺の構造と機能</p> <p>③関節，筋肉の構造と機能</p>	D	<p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p>

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (アレルギー膠原病ユニット)
4	<p>病因と病態</p> <p>1) アレルギー疾患の成因, 発生機構, 病態生理を説明できる。</p> <p>①アレルギー反応の4型, ②アレルギー反応の発症に関与する免疫担当細胞 (Th2細胞など) とサイトカイン, ③アレルゲンと免疫反応 (アレルギー性炎症, アレルギーマーチ), ④好酸球, IgE抗体</p> <p>2) 以下のアレルギー疾患の成因, 発生機構, 病態生理を説明できる。</p> <p>①アナフィラキシー (原因と病態), ②食物アレルギー (食物依存性運動誘発アナフィラキシー, 口腔アレルギー症候群を含む), ③薬物アレルギー, ④気管支喘息, ⑤気管支喘息関連疾患 (咳喘息, アスピリン喘息, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症, アレルギー性気管支肺アスペルギルス症), ⑥好酸球性肺炎, ⑦過敏性肺炎</p> <p>3) 膠原病および類縁疾患, 自己免疫疾患の成因, 発生機構, 病態生理を説明できる。</p> <p>①膠原病の概念, ②免疫寛容, ③自己抗体 (抗核抗体, 疾患特異抗体)</p> <p>4) 以下の膠原病および類縁疾患の成因, 発生機構, 病態生理を説明できる。</p> <p>①全身性エリテマトーデス, ②抗リン脂質抗体症候群, ③皮膚筋炎/多発性筋炎, 無筋症性皮膚筋炎と間質性肺炎, ④強皮症, ⑤混合性結合組織病, 肺高血圧症, ⑥シェーグレン症候群, ⑦関節リウマチ, 悪性関節リウマチ, ⑧血清反応陰性脊椎関節炎, ⑨リウマチ性多発筋痛症, ⑩成人Still病, ⑪大血管炎 (高安動脈炎, 巨細胞性動脈炎), ⑫結節性多発動脈炎, ⑬ANCA関連血管炎 (顕微鏡的多発血管炎, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症, 多発血管炎性肉芽腫症) ⑭IgA血管炎, ⑮抗GBM抗体関連疾患, ⑯ベーチェット病, ⑰IgG4関連疾患</p>	<p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p> <p>B</p>
5	診断	
6	<p>治療、予防</p> <p>1) 前述Ⅲ4(2)であげたアレルギー疾患の診断と治療を説明</p>	

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (アレルギー膠原病ユニット)	
	<p>できる。</p> <p>2) 前述Ⅲ 4 (4) であげた膠原病および類縁疾患の診断と治療を説明できる。</p> <p>3) ステロイド, 免疫抑制剤, 分子標的薬による治療とその副作用を説明できる (日和見感染など)。</p> <p>4) ステロイド, 免疫抑制剤, 分子標的薬による治療による副作用の予防を説明できる (日和見感染など)。</p>		
7	<p>疫学、統計</p> <p>1) 前述Ⅲ 4 (2) であげたアレルギー疾患の疫学を説明できる。</p> <p>2) 前述Ⅲ 4 (4) であげた膠原病および類縁疾患の疫学を説明できる。</p>	C	
IV. 診療の実践			
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に</p> <p>患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。</p>			
5	<p>臨床推論により診断ができる。</p> <p>1) 前述Ⅲ 4 (2) であげたアレルギー疾患の臨床推論</p> <p>2) 前述Ⅲ 4 (4) であげた膠原病および類縁疾患の臨床推論</p>		<p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p>
6	<p>検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。</p> <p>1) 前述Ⅲ 4 (2) であげたアレルギー疾患の診断と治療に必要な検査。</p> <p>①アレルギー疾患におけるin vitroとin vivoの診断法</p> <p>2) 前述Ⅲ 4 (4) であげた膠原病および類縁疾患の診断と治療に必要な検査。</p> <p>①関節リウマチにおける関節超音波</p> <p>②各種検査による臓器病変の評価</p>	C	
7	<p>治療計画を提案できる。</p> <p>1) 前述Ⅲ 4 (2) であげたアレルギー疾患の治療計画</p> <p>①アレルギー性炎症の免疫療法と抗炎症療法</p> <p>②気管支喘息の治療ガイドラインと長期管理</p> <p>③気管支喘息の治療薬 (吸入ステロイド, LABA, 生物学的製剤)</p>		

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (アレルギー膠原病ユニット)	
	④アレルギー特異的免疫療法 ⑤アナフィラキシーの治療 2) 前述Ⅲ4(4)であげた膠原病および類縁疾患の治療計画 ①ステロイドと免疫抑制剤による治療 ②分子標的薬による治療 ③免疫抑制治療による日和見感染症とその他の副作用		
Ⅵ. 科学的探求			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 常に探究心を持ち、未知・未解決の科学的問題の解決に向けて、以下のことができる。			
2	新しい科学的知見について、論理的・批判的な思考ができる。 ① アレルギーコンポーネントの解析 ② 免疫療法の発展 ③ 分子標的薬の治療と開発	C	基盤となる知識を示せることが単 位認定の要件である